

SPARC への期待

戸瀬 信之(日本数学会理事)

2013年6月7日

MSJの電子化事業

- 定期刊行物はほぼ完了
 - Journal of Math. Soc. Japan (JMSJ)
 - Japanese Journal of Mathematics (JJM)
 - 「数学」
- 不定期刊行物はかなり進行
 - Advanced Studies in Pure Math. (ASPM)
 - 刊行後5年経過したものは既に公開済み
 - MSJ Memoirs および「数学メモアール」
 - 刊行後8年経過したものは公開予定
 - カレントの有償公開を準備中 (MSJ Memoirs)

数学者の研究成果発表

- Preprint
 - ArXivや機関レポジトリーでの公開
- 学会発表→「アブストラクト」
- シンポジウムでの講演→ 報告集、ビデオ
- 論文
- 講義録、レビュー、モノグラフなど

日本数学会の対応(1)

- 大会の講演「アブストラクト」
 - 講演のデータベースを作成中
 - 「アブストラクト」については今後アーカイブ化
- 講演のビデオ
 - 高木レクチャーとMSI Seasonal Institute についてはビデオを撮影して公開→世界に発信
 - 大会の企画特別講演も同様
 - 東京大学数理科学研究科における講演ビデオとの共通データベースの必要
 - 英語講演についてはアジアでの宣伝

日本数学会の対応(2)

- 分科会の総合シンポジウムなど
 - 講演記録を徐々に電子化
- 過去の重要な国際シンポジウム
 - Proceedings の公開

Digital Mathematical Library

- DML-JP
 - 世界的な構想の一部として開始
 - 行木孝夫さんによる構築
 - 日本の数学研究を総合的に網羅すべき
 - ビデオなどを含める
 - メタデータの国際化は必要
 - 日本数学会の大会では英文サマリーを必須に
 - 雑誌「数学」では英文メタデータも付与
 - DOI番号の付与と連動

SPARCへの期待

- DML-JP 拡張版の構築への援助
- 出版社との交渉に関するコンサルティング
 - 出版権の調整で交渉が必要な場合で難航することも多い
- 様々な分野のデータベースのハーベスト
 - 世界の図書館への情報の供給
- モノグラフの電子化の推進

SPARC への期待

戸瀬信之（日本数学会理事）

日本数学会では定期刊行物

Journal of Mathematical Society of Japan (JMSJ)

Japanese Journal of Mathematics (JJM)

「数学」

を刊行していますが、これらは遡及電子化がほぼ完成しています。さらには、不定期刊行物として刊行しています

Advanced Studies in Pure Mathematics (ASPM)

MSJ Memoirs

数学メモアール

については、一定年度経過した巻の無償公開と、**MSJ Memoirs** についてはカレントの電子版の刊行を予定しています。

これらの刊行物は研究発表の最終的なバージョンであると思われませんが、それにいたるまでに、学会発表、シンポジウムでの講演があり重要なコミュニケーションの機能を果たしています。これらに日本数学会の場合は学会発表の講演要旨のデータベース化を進めています。またいくつかの分科会での総合研究集会の報告集などの公開が徐々に進行しています。また、年2回の大会の総合講演や企画特別講演についてはビデオ撮影を行い、一般公開を行っています。

以上は今後国内の研究者に対するサービスとして有効なものですが、国際的には毎年 **MSJ Seasonal Institute (MSJ-SI)** や高木レクチャーを開催しています。（もちろん英文の刊行物によって世界の数学コミュニティーに多大な貢献を行っています。）これらの講演はビデオとして公開を行い、**MSJ-SI** の場合は講演記録を **ASPM** に高木レクチャーの場合は **JJM** で公刊を行います。

このように一連の研究活動をサポートするという意味で、プレプリント、学会発表、シンポジウムでの講演、論文、レビューなどを総合的に網羅した大きなデータベースを構築して、国際的に研究者や研究図書館に情報を流通させることを考えて行く必要があると思っています。この方向では日本数学会が **SPARC** に期待するところ大です。